



議会だより そでがうら

議会のひろば

特集 座談会

「袖ヶ浦4Hクラブと市議会」

(若手農業生産者)



座談会 みんなのひろば	2～3
決算の概要と討論	4～5
お金の使い道をチェック	6～7
議案（水道料金改定・ 小中学校にエアコン設置）	8～9
陳情～東海第2原発再稼働反対～ 議決結果	10
9人が市政を問う 一般質問	11～15
委員会レポート	16～17
ガウラのひろば、12月定例会の予定	18

みんなのひろば

市議会 と 4Hクラブ

今回の座談会は

若手農業者の力で地域農業の発展を目指して活動する「4Hクラブ」の皆さんにお話を伺いました。

4Hクラブの4Hとは、農業の改良と生活の改善に役立つ腕(Hands)を磨き、科学的に物を考えることのできる頭(Head)の訓練をし、誠実で友情に富む心(Heart)を培い、楽しく暮らし、元気で働くための健康(Health)を増進するという4つの信条の頭文字の総称です。



4Hクラブってどんな団体ですか？

◆市内の若手農業者15人で構成されていて、農作物に関する知識や技術などについて、先進事例の勉強会などを行いながら、地域農業の発展を目指している団体です。
◆イベントでは、新鮮野菜の対面販売や収穫体験などを通じて、袖ヶ浦市の野菜の魅力を消費者に発

袖ヶ浦は日本でもトップクラスに何でも作れる最高の土地柄なんです。
だから、特産品と呼べるものを作りたい！

信する活動も行っています。

◆中学校の授業の一環として、落花生などの栽培に取り組み、生徒のみなさんに農業の難しさや収穫の喜びなどを体験させています。



皆さんが作った商品はどこで買えるのですか？

◆ゆりの里などの直売所でも買えますが、普段皆さんが食べている



リニューアルした議会だよりはいかがですか？

◆以前と比べて堅苦しくなくなり、見やすくなりました。
◆僕は、今回の対談を機に初めて見ました。こういう機会があるのはとてもいいですね。
◆私は、農業の質問をしている人



田中 将洋さん
(大根・落花生)

4Hクラブ
若手農業生産者

() は生産している
主な農作物です。



石塚 勇司さん
(レタス・とうもろこし)



長島 康貴さん
(大根・とうもろこし)

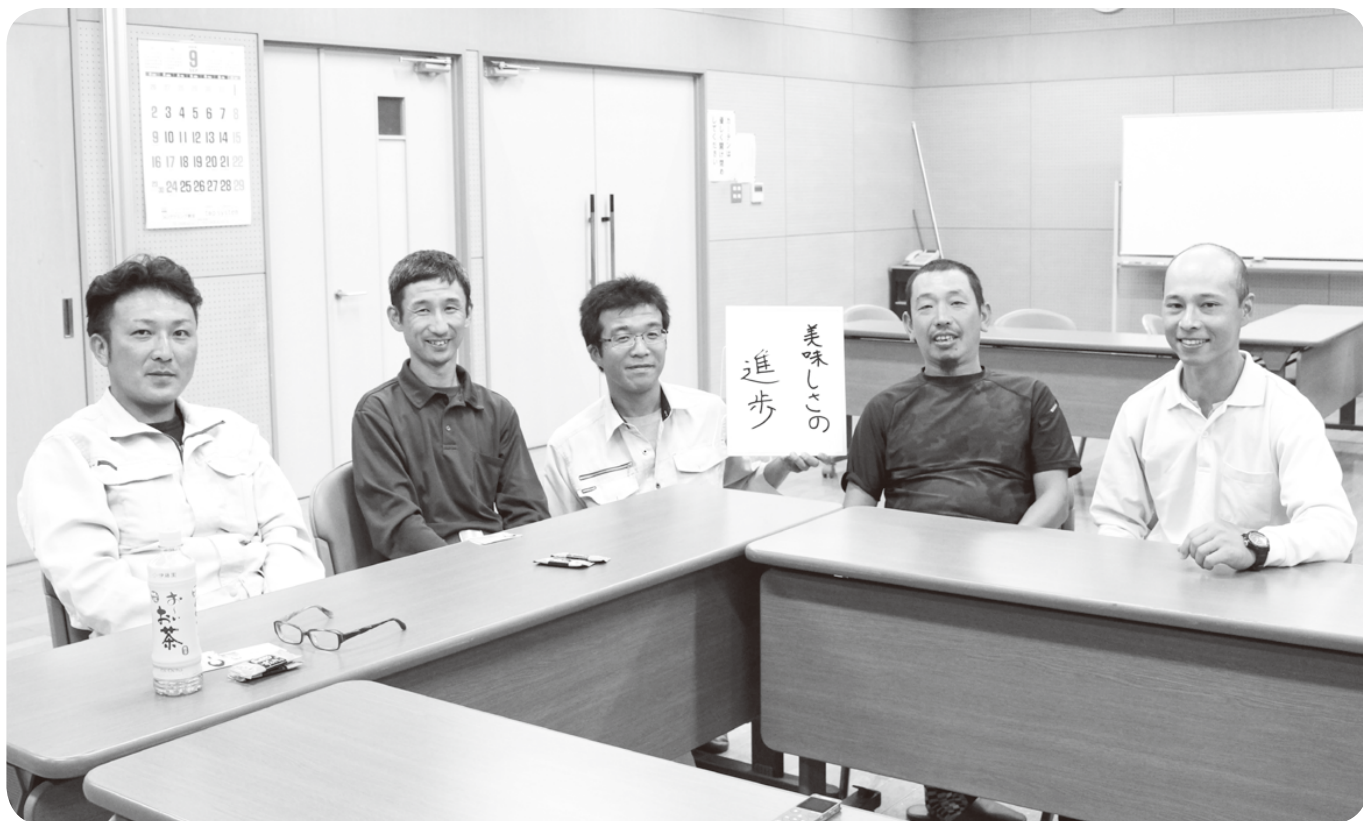


切替 英世さん
(米・里芋)



有原 大祐さん
(米・レタス)

冷凍食品や大手外食チェーン店の料理などに、メンバーの作った野菜が使われているんですよ。
◆去年は袖ヶ浦マルシェや市民会館祭りにも参加しました。今年も参加して直接販売する予定です。



に目がいきます。自分に関係したところは見ますね。ただ、議会用語はわかりづらいので、市民にわかりやすい言葉をつかってくれるともっと読みやすくなるのかな？と思います。



議会を傍聴したことはありますか？

◆一同「ありません。」

◆議員さんと農家にはギャップがあるように思います。壁があるというか…。

◆選挙の時だけじゃなく、普段から農家にも足を運んで実情を知ってほしいです。最近は災害が多く、農家は水が止まったら何もできなくなってしまう。だからこそ前もって対策をしてほしいんです。そうした話をぜひ議員さんに聞いてほしい。



最後に今後の目標を教えてください。

◆袖ヶ浦は敷地面積は狭いけど、日本でもトップクラスに

でも作れる恵まれた土地なんです。それを活かして、これだという特産品を作りたいです。

◆袖ヶ浦は大手の種苗農場があるので、どこよりも早く新品種に取り組めます。気候もいいし、首都圏に新鮮な野菜が届けられる利点を活かし、様々な野菜で地域ブランドを作りたいですね。



座談会を終えて

お忙しい中、ありがとうございました。それぞれの取組みや、農業の発展についての熱い想いを伺い、袖ヶ浦の特産品や地域ブランドが増えていくことを願っています。市議会として、今後さらに農家の皆さんと一緒に袖ヶ浦の未来を考えていきます。

座談会 袖ヶ浦4Hクラブ

お問い合わせ

袖ヶ浦市役所 農林振興課

☎(62)3460(直通)

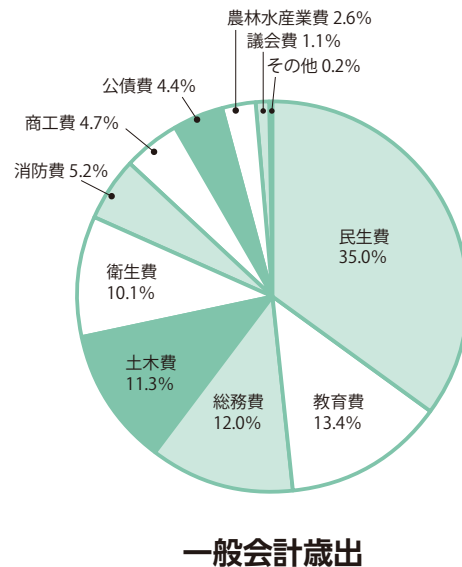
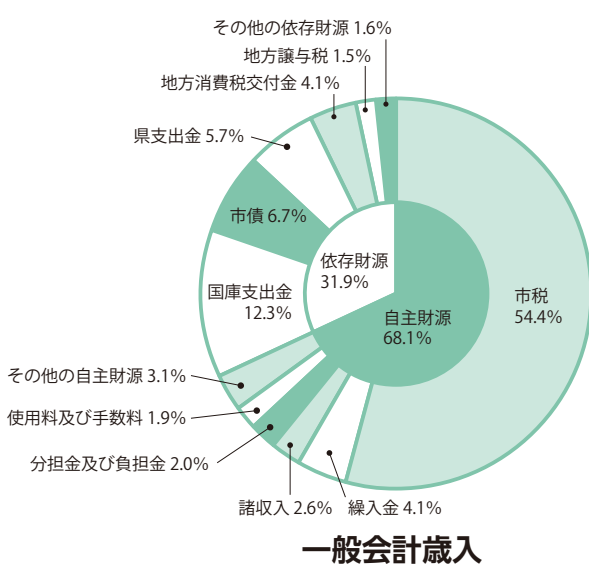


税金の使い方をチェックしました

市長は、前年度の決算について、議会の承認を受けなければなりません。
 そのために、9月19日・20日の2日間で、みなさんが納めた税金がどのように使われたか、決算審査特別委員会を開催し、その内容を審議しました。

実質単年度収支 3千7百万円で黒字！

平成29年度 各会計決算状況



	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計	251億 7,018万 206円	242億 8,077万 4,429円
特別会計		
国民健康保険	77億 7,722万 7,392円	74億 1,779万 8,558円
後期高齢者医療	5億 5,641万 7,455円	5億 5,470万 6,641円
介護保険	38億 9,910万 1,750円	37億 5,941万 746円
農業集落排水事業	1億 7,706万 8,676円	1億 7,534万 8,310円
公共下水道事業	17億 1,550万 3,837円	16億 9,936万 8,744円
水道事業会計		
収益的収支	21億 1,675万 3,236円	20億 540万 5,943円
資本的収支	2億 3,460万 2,119円	7億 3,935万 1,074円

財政運営は健全

認定

賛成討論



財政厳しくも、
着実に事業を実施

● 一般会計

財政基盤の健全性の維持に努めつつ、変化、多様化する社会への対応、各分野における市民福祉の向上、各産業の支援、市の発展に向けた着実な社会資本整備に取り組んできたものと評価し賛成します。

● 国保会計

高齢社会の進展と高度医療の普及等で医療費が増加傾向にある中、医療費削減へのさまざまな取組みを行うとともに、被保険者の健康保持増進に努力していることを評価し賛成します。

● 介護会計

今後も費用の増加が見込まれる中、介護給付の適正化や介護予防の取組みである、いきいき百歳体操[®]を実施するなどサービスの質の向上にも取り組んできたものと評価し賛成します。

反対討論



財政見通しの誤り
認めるべき

● 一般・国保・介護会計

58億円の財政不足が生じるとして平成25年度から始めた持続可能な財政構造確立のための集中的取り組みは、実施してもなお、31億円不足するとしていましたが、不足どころかプラスになりました。財政見通しの誤りをきちんと認め、削った福祉は元に戻すべきです。

国保会計では、全体の約12%強の方が滞納しており、そもそも高すぎる国保税の改善が必要です。医療費一部負担金減免が未だに申請なし、厳しすぎる要件を緩和すべきです。

介護会計では、利用料2割負担の方が170人、さらに3割負担の方も出てきます。高い保険料を払いながら、サービス利用にもお金がかかる、制度改善が続いています。以上のことから決算の認定に反対します。

賛成討論



経営努力を評価

● 水道事業会計

厳しい経営状況の中、老朽管の更新や災害時におけるライフラインの確保等を図っています。市民生活に支障をきたすような断水もなく、経費の削減に努めながら事業運営を行っていること評価し賛成します。

反対討論



統合・広域化は問題あり

● 水道事業会計

6月末に水道の統合、広域化の基本計画案が出され、本日に市民に利益になるのかしっかり精査する必要がありますが、様々な数値の算出根拠が示されず10月に基本協定が締結されました。進め方に問題があり、さらに災害が多く起きています。水源を減らしてまで広域化を進めることに反対します。

お金の 使い道を チェック

決算審査特別委員会では、既存事業に加えてシティプロモーションや市民協働など新たな取組みへの質疑を行いました。

持続可能な財政構造確立への取組み成果は

Q H25年度から実施した「持続可能な財政構造確立のための集中的取組み」により、持続可能な財政構造の確立はできたのか。

A 当初は58億円の一財源不足を見込んで取組みを行い、結果として25億円程度の成果がありまして、市税収入の増もあり、持続可能な財政構造の確立はできたと考えます。

Q 取組みの期間の中で市税の上振れがあり、基金の積み増しもできた。取組み途中で、なぜ計画を修正しなかったのか。

A 取組みがなかったら、財政調整基金をより多く取り崩すことになったと考えます。税収についても好転する見込みが立てられませんでした。なお状況により実施を見送った取組みもあります。

市の魅力発信は

Q 日本橋でのPR動画放送の期間とターゲットは。

A 通行人をターゲットにして、日本橋に設置されたスクリーンに年間を通じて4種類の映像を放映しました。

Q HPでの市内外に向けたシティプロモーションは。

A 「市政の見える化特設サイト」等で情報発信をしています。HP全体を魅力的にわかりやすくし、観



日本橋で袖ヶ浦市をPRしました

協働のまちづくりへの取組みは

光や子育てなど個々のページでも魅力を発信しています。



Q みんなが輝く協働のまちづくり条例制定後の、協働のまちづくりを具体化するための取組みは。

A 広報や回覧板、記念講演で市民のみなさんにお知らせしました。また、まちづくり講座を開催し、人材育成を行いました。

Q まちづくり講座受講生は、人材バンクのような形で活躍するの

A 人材バンクという形はありませんが、受講した方は、各種審議会等の場で活躍しています。

アレルギー対応の非常食の備蓄状況は

Q 非常食は計画的に備蓄しているのか。

A 更新計画に基づき備蓄・更新しています。更新した非常食は、地

域の防災訓練等の試食に使用しています。

Q アレルゲンフリーの非常食の備蓄はいつから始めたのか。備蓄の目標数は。

A H29年度からアレルゲンフリーのアルファ米と粉ミルクの備蓄を始めました。必要量172食に対しアルファ米500食と粉ミルク520食を備蓄しました。

Q 液体ミルクの備蓄を検討しないか。

A 賞味期限が短く高価なため、先進事例を踏まえ今後の備蓄のあり方を検討します。



防災訓練で非常食の試食をしています

無許可埋め立て環境への影響は

Q 無許可埋め立ての残存事業の場所と状況は。撤去しないのか。

A H24年2月に高谷地先で残土の不法埋め立てがあったため、年4回水質調査を行っています。水質

調査の結果は問題ありません。撤去については、土地の所有者と行為者に働きかけをしていきます。

Q 再生土埋め立ての件数は。

A 県の指針に基づく届け出が1件です。

Q 林地先の再生土埋め立ての搬入路が、市の土地に許可なく作られたと聞いている。把握・確認しているのか。

A 把握しています。進入路の先の赤道を、市の許可を得ずに削った状況です。行為者に復旧の指導をしています。

※赤道（あかどう）とは…公図上、地番のない土地で、里道や農道を指します。

給食の食べ残しをリサイクル 良質な肥料へ

Q 給食の食べ残しの量と処理方法は。

A H29年度は77トンです。食べ残しは基本的にすべてリサイクルし



この堆肥化施設で肥料を作っています

ています。

Q どこで、どのようにリサイクルしているのか。

A 蔵波にある袖ヶ浦市資源循環型畜産共同利用組合でリサイクルしています。食べ残しを堆肥化施設で発酵させて、良質な肥料に生まれ変わらせます。

農家の経営規模拡大への 支援は

Q 農地集積事業における農地の出し手・受け手のマッチング方法は。

A 新規と更新の場合があります。新規の場合は、自身で耕作地の周りの方と交渉することが多いです。農地利用最適化推進委員も地域で活動していて、話がまとまるケースもあります。

Q H29年度の数が多い理由は。受け手となる大きな法人等が増えたのか。

A 利用権の期間満了が多いと更新の数が増えます。法人でなく個人同士の利用権設定で、若手の農業者の方も頑張っています。

生活習慣病の予防は

Q 特定健康診査の未受診者に、がん検診等と一緒に再度特定健康診査を実施したとあるが、その時の受診人数は。

A 未受診者へは、広報等でお知らせ

せし受診券を発行するなどしています。がん検診等と一緒に実施した特定健康診査の受診者は249人です。

Q 特定指導対象の方への指導を、がん検診や骨密度測定会で実施しないか。

A 特定健康診査の集団検診とがん検診の同時実施の際には、受診者全てに1回目の指導を行っています。



給水車の配備は

Q 給水車の配備の状況、出動の実例は。

A 市で給水車を1台保持し、災害時や断水時、防災訓練で活用しています。また、他市への応援で出動した実績があります。

Q 他市への応援ということだが、1台で足りなければ他市へ給水車

の応援をお願いできるのか。

A 市と県とで災害協定を結んでいます。日本水道協会とも協定を結んでいるので、救援依頼で給水してもらうことができます。また料金徴収委託事業者も給水車を所有していて、協定を結んでいます。



応急給水訓練をして災害に備えます

決算審査特別委員会

委員長	在原 直樹		
副委員長	根本 駿輔		
委員	山下 信司	小国 勇	
	篠原 幸一	鈴木 憲雄	
	前田美智江	励波 久子	
	笹生 猛	阿津 文男	
	塚本 幸子		

※そのほかの質疑については、後日ホームページで会議録を閲覧できますので、ぜひご覧ください。

袖ヶ浦市議会で こんなことが決まりました

9月定例会 会期 9月4日～9月26日 23日間

条例の改正……………	6件	人事案件(人権擁護委員)…	1件
補正予算……………	4件	陳情……………	1件
専決処分の承認……………	1件	発議案……………	1件
規約制定の協議……………	2件		
決算の認定……………	2件	合計 18件	その他報告 6件

今号では
この中から4つを
Pick up!

2か月分の使用料(税込み) 口径20mmの場合

使用水量	現 行	改定後	差 額
20m ³	4,428円	4,730円	302円
30m ³	5,983円	6,447円	464円
40m ³	7,538円	8,164円	626円
50m ³	9,536円	10,368円	832円
60m ³	11,534円	12,571円	1,037円

平成31年4月使用分から水道料金が変わります。今回の改定では、本来14・27%となる平均改定率を、一般会計から5年間で約3億円の助成金を繰り入れ9・94%に抑制します。

Pick up ①

水道料金が改定されます

可決



反対討論
平均9・94%
値上げに反対

全体経費の約40%が受水費であり、使用水量の2倍以上の計画水量のため、高い受水費を払い続けています。市民にはそういった事は知らされていません。今まで通り一般会計から1億5千万円を繰り入れ、値上げを抑えるべきです。

賛成討論
将来にわたり
安心安全な水を

水道は日常生活に必要不可欠なものです。水道料金は近隣市に比べ低く設定されてきて、厳しい経営状況の中での企業努力も認められます。水道水の安定供給のため料金改定は必要と考え賛成します。

賛成討論
将来にわたり
安心安全な水を

Pick up ②

かずさ水道広域 連合企業団規約 の協議

可決

この規約の制定の協議は、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市及び千葉県を構成団体とする水道事業広域連合設立のために必要な手続きであり、平成31年4月の統合を目指します。

賛成討論



規約の制定は
条件整備のひとつ

広域連合を設立して統合する全国初の事例で、規約は国や県の助言を受けながら統合に向けて協議・調整を進めてきました。規約の制定は、統合に向けての必要な条件整備のひとつなので、賛成します。

反対討論



広域化の安定供給と
技術継承に疑義

統合・広域化計画では、地下水源は減らされ、技術職は増えません。これでは目的である「安定給水と技術継承」は図られないと考えます。水道広域化するための企業団設立に反対します。

Pick up ③

小中学校に エアコンが 設置されます！

可決

この夏の記録的な猛暑を受け、市内小中学校の普通教室すべてにエアコンが設置されることになりました。

エアコン設置費は、財政負担を複数年に平準化できるリース方式を採用しており、10年間で事業費8億9千万円を上限額とし、その後所有権が市に帰属となります。

来年7月1日より使用できるよう整備します。



夏場は窓をあけ扇風機で暑さ対策をしました

Pick up ④

陳情

東海第二原発 再稼働反対に関する陳情書

不採択

東海第二原発は福島県で起きた原発事故の原子炉と同じ能力であり、稼働40年を目前とする老朽炉であることなどから、再稼働反対の意見書を国に提出することを求める陳情が、「袖ヶ浦市民が望む政策研究会」より提出されました。審議の結果、賛成少数で不採択となりました。



東海第二原発

賛成討論



人口密集地で再稼働など
ありえない

東海第二原発から30キロ圏内には約96万人が居住、原発事故が起きても避難は困難です。袖ヶ浦市民に与える影響はわかり知れません。核のゴミも処理の見通しがなく、原発ゼロを目指すべきです。

反対討論



再稼働に対する合議体の
権利と主体性を尊重

再稼働に関する事前了解権を周辺6市村に広げるなど、全国初の安全協定が原電と周辺自治体との間で結ばれました。原発に対する合議体としての先進事例であり、まずはその権利と主体性を尊重すべきと考え反対します。

※原電＝日本原子力発電(株)

平成30年9月定例会の議決結果

9月定例会では、議案13件、認定2件、諮問1件、陳情1件、発議案1件について議決し、陳情を除き、原案のとおり可決されました。そのうち賛否が分かれた案件は以下のとおりです。

◆賛否が分かれた案件◆

○=原案賛成 ●=原案反対 退=退席

議案等	議決結果	付託委員会	根本 駿輔	山口 進	山下 信司	粕谷 智浩	在原 直樹	小国 勇	笹生 典之	緒方 妙子	篠原 幸一	鈴木 憲雄	佐久間 清	前田 美智江	長谷川 重義	励波 久子	佐藤 麗子	笹生 猛	榎本 雅司	阿津 文男	塚本 幸子	福原孝彦(議長)	篠崎 典之		
水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	●	
平成30年度一般会計補正予算(第1号)	原案可決	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-	●
かずさ水道広域連合企業団規約の制定に関する協議	原案可決	建設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	●	
東海第二原発再稼働反対に関する陳情書	原案不採択	建設	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	○	-	○	
平成29年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定	原案認定	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
平成29年度水道事業会計決算の認定	原案認定	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	

◆議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わりません。

◆議案名中の『袖ヶ浦市』及び、『～について』は省略表示してあります。

◆全会一致で原案可決・承認・同意された議案◆

- 空き家等の適正な管理に関する条例の全部改正
- 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部改正
- 中小企業融資資金貸付条例の一部改正
- 地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
- 平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 平成30年度介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 平成30年度水道事業会計補正予算(第1号)
- 専決処分の承認(国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定)
- 広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定
- 人権擁護委員の推薦
- ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書



詳細については袖ヶ浦市ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

袖ヶ浦市ホームページ <http://www.city.sodegaura.lg.jp/> 議会事務局 ☎(62)3450

▲議決結果はこちらから

臨時会のお知らせ

11月15日(木)午前10時から臨時会を行います。臨時会では、各常任委員会委員の選任及び正副委員長との互選などを行います。その様子を傍聴できますので、ぜひ議場へお越しください。



人権擁護委員が決まりました

任期満了となる3名の再任について議会で同意されました。



小倉 正敬 委員

平成30年10月1日～
平成33年9月30日



田代 悦子 委員

平成30年10月1日～
平成33年9月30日



稲垣 昭彦 委員

平成30年10月1日～
平成33年9月30日

人権擁護委員とは…人権擁護委員法に基づいて、法務大臣から委嘱された民間ボランティアで、人権相談や人権の考えを広める活動をしています。

9人が

市政を問う

一般質問

一般質問とは、皆さんの生活にかかわる大切な内容について、議員が市長などに考えを聞くものです。議員本人がQ&Aを要約し作成した原稿を質問者順に掲載しています。未掲載の内容も含め、一般質問の様子をホームページで録画配信中ですのでご覧ください。会議録は12月頃に掲載予定です。

各議員のQRコードから一般質問の映像が閲覧できます。会議録は市議会ホームページのほか、市役所2階の市政情報室や、中央図書館、おかのうえ図書館でも閲覧できます。

会議録はこちらから→

袖ヶ浦市議会

Q検索



佐久間 清 議員

開政クラブ



質問項目

- ・教育行政について
- ・主要道路の整備状況について

Q 教職員が心にゆとりを持ち笑顔で子どもと関わるには

A 正規教職員による配置を、様々な機会を通じて働きかけていきます

教職員の多忙化解消に向けた取り組みについて

Q 各小中学校に導入された校務支援システムの評価について伺う。

A システムの評価については、校務をコンピュータ処理することで、教職員の事務の負担軽減を図ることや児童生徒と向き合う時間の確保を目的に導入したものです。

主な成果として、出席簿や在籍関係の報告は入力されたデータから自動的に累計されるため、事務負担が大幅に軽減されています。また、保健

Q タイムカード機器導入の取組み状況について伺う。

A 管理についても転記作業がなくなり、効率化が図られています。

A タイムカード機器導入により、教職員の勤務時間が、数字的にはつきりわかってきました。今後は、実態把握をもとに、管理職が教職員一人ひとりの状況を詳細に把握して、個々に応じた対応策を講じていきます。

自然災害と言われる猛暑の中、教室へのエアコン設置について

Q 来年の7月1日の稼働を目標に、

エアコンの設置を準備していくとのことであるが、国の補助金を活用できるのか。また、工事ではなくリースとする設置の考え方について伺う。

A 国の補助金対象は、工事による設置が前提となっており、今回はリースによる設置を予定しているため、補助金は受けられません。また、リースでの設置理由は、工事として整備をする場合、相当な期間を必要とすることにに対し、リースとする場合は、実施設計が不要となることから、早期に着手することができ、費用負担の平準化も図れます。



しの ざき のり ゆき
篠崎 典之 議員

日本共産党袖ヶ浦市議団



質問項目

- ・公共交通網整備行政について
- ・本市における石炭火力発電所建設計画について

Q 基本的人権として交通権を 保証する基本条例を

A 条例ではないが次期総合計画の施策で位置づけ、役割を明らかにします

Q 公共交通施策を基本に据え、交通権を憲法上の基本的人権として保障する(仮称)市民の交通権を保障し、どこでも住みやすいまちづくりを進める基本条例」を制定し、市の責務等を明確にした施策を進めないか。

A 次期総合計画策定のための「市民まちづくりアンケート」、「まちづくり懇談会」でも、路線バスなど移動手段への市民の関心が非常に高く、大きな課題と認識しています。提案

交通権と公共交通を基本にした 住みやすい袖ヶ浦市に

Q 総合計画に反映、役割を明らかにするのは良いが、具体的な検討は先になる。どのようなものなのか。

A 現状の公共交通とあわせ、各地域の課題を共有する中で、できれば市民の皆さんとの協働事業で公共交通の補完をしたいと考えます。高齢化、交通弱者が増える中で、交通施策、高齢者福祉、交通安全対策、商工の各部門とも情報共有し、検討を進め

地球温暖化を助長する石炭火力 発電所計画は断念を求めよ

Q 市内で事業者が計画中の石炭火力発電所建設は、LNG火力の約2倍の二酸化炭素で温暖化を助長する。市長として計画断念を求めないか。

A 現在、環境影響評価の手続き中であり、計画の是非について最終判断をすべきではないと考えます。



お がた た え こ
緒方 妙子 議員

公明党



質問項目

- ・福祉行政について

Q 虐待から子どもを守るには

A 虐待発生時、直ちに訪問し必ず子どもの安全を確認し対応します

Q 児童虐待を防ぐ取組みは

A 虐待を予防する取組みの強化は。H29年4月に総合サポートセンターを開所し、支援を必要とする家庭等の状況を継続的に把握しています。

Q 接点を持ちにくい家庭への支援は。

A 家庭訪問を行うなどのアウトリーチ型支援で状況を把握し、必要な支援を行っています。

Q 虐待発生時の迅速な対応について。

A 県マニュアルでは遅くとも48時間、本市は直ちに担当職員が訪問、必ず

Q 子どもの安全を確認し対応します。支援を必要とする子どもへの対応。

A 県のアセスメントシートで状況を判断して、個別支援会議で対応方法を検討し支援につなげています。

Q 高齢化するひきこもりの支援は

A 自立支援のために市で実態調査を。国の調査をもとに研究します。

Q 市施設「えがお袖ヶ浦」の支援は。

A 状況を把握し、個別支援会議で専門分野につなぎ継続的に支援します。

Q 介護保険料抑制の本市の取組みは

A 今回の料金改定の根拠と状況は。

Q 第7期計画に基づき介護費増、負担割合変更、介護報酬引上げ等の要因、また基金の活用で抑制を図り、近隣4市で最も低い状況です。

Q 団塊世代ピークを見据えて介護予防、重症化防止の効果的な取組みは。

A 予防体操等の継続、講演、教室開催で啓発し、地域包括ケアシステムでの細やかな支援を行っていきます。

Q 閉じこもりがちな高齢者の対応は。

A アンケート調査により把握します。

Q ケアプラン点検にて給付は適正か。

A 点検と共に課題を共有し、更に適切なサービス提供を図ります。



と なみ ひさ こ
励波 久子 議員

日本共産党袖ヶ浦市議団



質問項目

- ・災害対策について
- ・安全・安心な水を求めて
- ・ごみ処理事業について



ね もと しゅん すけ
根本 駿輔 議員

新風会



質問項目

- ・災害時のハザードマップについて
- ・男性の育児参加推進について

Q 西日本豪雨規模の災害時浄水場は被災しないか

A 水道施設の被災は否定できません

地下水源は減らすべきではない

- Q 四市で地下水源を14・5%まで減らす統合基本計画。安定供給のための統合だが、小櫃川沿いの大寺・十日市場浄水場が被災すると広範囲に水が供給できない。災害時問題では。
- A 災害時に必要な水量約13日分を確保し、給水車で避難所や病院に搬送します。また、被災状況に応じて関係団体の応援を得て対応します。
- Q 小櫃川源流部の産廃最終処分場が拡張予定。過去には有害物質の漏えいもあった。土砂災害や漏えいが起

市と市民の防災意識を高めて

- Q 海側にある認定こども園の津波避難訓練は園舎の2階へ避難との事で大丈夫なのか。市職員は「ハザードマップで津波は来ないから」という方がいた。この認識で良いのか。
- A ハザードマップを作成した条件では浸水していませんが、どのように
- Q 処分場の建設許可権者は県です。県が事業者に対して、施設の適正管理、指導、検査を行っています。

地域で独自のハザードマップを作ることで危険箇所、避難経路を確認でき、防災意識も高まる。市民と協働で取り組まないか。

- A 各種ハザードマップを元に、災害を想定した様々な取組みができるよう、引き続き助言等行っていきます。
- Q 市立保育所の防災マニュアルの対応や対策も不十分。改善すべき。
- A 想定を超える豪雨等もあり、今後対応等検討していきたいと思えます。
- Q なるか分かりませんが準備と訓練は必要です。全職員が共通認識に立つよう今後徹底していきます。

Q ハザードマップ更新すべき

A 部分的な作成を検討します

古いハザードマップの更新は

- Q 洪水ハザードマップ作成から10年以上経過している。様々な状況が変わっており、更新を行わないか。
- A H27年に法改正され、洪水防災マップの作成にあたり、想定できる最大規模の水害を対象として作成するよう求められています。このため、県から市内の二級河川周辺の浸水想定区域図の見直しが必要とされています。マップを見直したいと考えています。
- Q 県の見直し作業が何年先に終わるか、目途はいつしているか。

男性の育児参加推進を

- Q 地域社会における男性の育児参加推進の取組みは。
- A 県で作成した方針の中で、概ね5年で実施するとしています。
- Q 特に状況が大きく変わっている袖ヶ浦駅海側地区や、奈良輪雨水ポンプ場の影響範囲だけでも、部分的に更新するべきではないか。
- A 居住者も増え、浸水想定や避難ルートなどを別途に示す必要があると考え、部分的な洪水防災マップの作成を検討したいと考えています。

旗振り役となるべき市役所の男性職員の育休取得状況がゼロとのことだが、直属の上司から促すなどの取組みが必要ではないか。

- A 今後研修の一つとして取り上げ、意識向上を図りたいと考えています。
- Q 初産の夫婦向けにプレママ・パパ学級を実施するなどしています。
- Q パンフレットやイベントなど、より男性向けに特化した取組みを行わないか。
- A 先進事例の効果を検証するとともに、実施方法について検討していきたいと考えています。



佐藤 麗子 議員

志清会



- 質問項目
- ・災害対策について
 - ・交通弱者への抜本的な対策について



篠原 幸一 議員

新風会



- 質問項目
- ・大地震等の災害に備え、自主防災組織の機能強化と組織のない地区への結成促進について
 - ・地域力の強化を図るための区・自治会組織の充実について

Q 体育館にもエアコンを

A 先進事例を調査します

- Q** 新しい災害対策を
- A** 防災行政無線のデジタル化に伴い、市民と行政の双方向通信が可能な防災アプリを導入しないか。
- A** デジタル化を行うにあたり、どのような機器構成やシステムにするか検討中であり、アプリとの互換性を含め有用性等についても検討します。
- Q** 西日本豪雨災害では猛暑日が続く中、避難所生活で熱中症にかかった高齢者が多発した。新しいシステムを活用して、避難所である体育館の環境整備を行わないか。

- A** 災害時には、既設の冷暖房設備を活用することを基本としており、防災対策のみを理由とした空調整備は難しいが、紹介のあった事例など先進事例について調査研究します。
- Q** 人だけでなく、家族同然であるペットの災害対策も考えなければならぬ。地域防災計画の内容を充実させ、飼い主へ周知徹底しないか。
- A** 今年度の改訂において、ペットの災害対策に関する記載内容を充実させるとともに、HPへの掲載などを含め広報活動の強化を図っていきます。

- Q** 交通弱者への抜本的な対策を
- A** 免許返納者へ市独自の優遇サービスをを行うとともに、手続きの簡略化を検討しないか。
- A** ニーズを把握するためアンケート調査を実施しており、その結果を参考に検討を進めます。手続きの簡略化を事業者に働きかけていきます。
- Q** 国や民間企業とともに自動運転の開発などを考えないか。
- A** 将来的に有効な取り組みですが、安全性等が分らない中での判断は難しく、国や企業が実証実験を行う場所の選定方法など情報収集に努めます。

Q 大震災等の災害の備えは

A 地域力の強化を図り、防災訓練を実施します

- 自主防災組織の機能強化と結成促進を**
- Q** 実践的な防災訓練と機能強化・組織結成を計画的に進めないか。
- A** H29年度末の結成数は73組織で、毎年2組織の結成を目標に促進しています。機能強化については、防災訓練に職員を派遣し、初期消火、救急法などの訓練と防災知識や技術の向上を支援しています。
- Q** 河川の氾濫が心配されている小櫃川と松川の敷地内に堆積している土砂と立竹木の撤去を。

- A** 河川管理者である君津土木事務所では、地元からの要望もありH28年度から予算の範囲内で小櫃川中川橋から富川橋までの間の立竹木と土砂の撤去を実施しています。近年の豪雨による河川の氾濫が心配されるので、引き続き県に要望していきます。
- 自治会組織の充実を**
- Q** 自治会への加入促進について何う。
- A** 自治会組織は安心して暮らせるまちづくりには欠かせない重要な団体です。加入率の向上のために市のHPで自治会活動を紹介し、自治連

- 絡協議会と協力しながら自治会加入促進チラシを配布するなど勧誘活動を行い加入促進に取り組んでいます。
- Q** 各自治会組織の世帯数に格差があるので見直しを検討しないか。
- A** 自治会の世帯数は多いところで2655世帯、少ないところで16世帯。人口減少と高齢化が進行する地域で自治会活動を維持していくために合併等により規模の拡大も有効な手段と考えます。合意形成を図る際には必要な助言を行っていきます。



さ そう たけし
笹生 猛 議員

創袖クラブ



質問項目

・ 出口市長のガバナンスについて



やま ぐち すずむ
山口 進 議員

創袖クラブ



質問項目

・ いちよう通り沿線住宅地の騒音
振動対策について
・ ふるさと納税について

Q 市民参画の市政に議員は含まれるか

A 議会是一段上の機能を持つので、より重要な観点から対話を進めます

A 政治家としての重点施策を示し、実現を約束しながら努力していくものだと考えています。

A 政治家としての重点施策を示し、実現を約束しながら努力していくものだと考えています。

Q 総合計画を策定する10年に1度の非常に大切な時期。昨年11月から続く市政のゴタゴタで「一体、市長は何を考えて市政をやっているのか」と疑問が出てきた。これは市政運営の原則が明らかでないからと考え、検証したいと思った。市長はマニフェストをどう考えているか。

政治家としての原則を明らかに

A 議会是一段上

の機能を持つので、より重要な観点から対話を進めたいと思っています。

Q 「市民と対話を大切にしたい市民参画の市政」の中の「市民」に、議員は含まれているか。

A 常に念頭に置いて活動しています。

Q H19年の選挙で示した「市政運営の3つの基本姿勢」は現存しているのか。

A 常に念頭に置いて活動しています。

Q 「市民と対話を大切にしたい市民参画の市政」の中の「市民」に、議員は含まれているか。

A 常に念頭に置いて活動しています。

Q H19年の選挙で示した「市政運営の3つの基本姿勢」は現存しているのか。

A 常に念頭に置いて活動しています。

Q 「市民と対話を大切にしたい市民参画の市政」の中の「市民」に、議員は含まれているか。

A 常に念頭に置いて活動しています。

Q H19年の選挙で示した「市政運営の3つの基本姿勢」は現存しているのか。

A 常に念頭に置いて活動しています。

Q 「市民と対話を大切にしたい市民参画の市政」の中の「市民」に、議員は含まれているか。

A 常に念頭に置いて活動しています。

Q H19年の選挙で示した「市政運営の3つの基本姿勢」は現存しているのか。

A 常に念頭に置いて活動しています。

Q 「市民と対話を大切にしたい市民参画の市政」の中の「市民」に、議員は含まれているか。

A 常に念頭に置いて活動しています。

A 政治家としての重点施策を示し、実現を約束しながら努力していくものだと考えています。

A 政治家としての重点施策を示し、実現を約束しながら努力していくものだと考えています。

Q 総合計画を策定する10年に1度の非常に大切な時期。昨年11月から続く市政のゴタゴタで「一体、市長は何を考えて市政をやっているのか」と疑問が出てきた。これは市政運営の原則が明らかでないからと考え、検証したいと思った。市長はマニフェストをどう考えているか。

所管事務調査での説明は「回数より質と深さ」が重要だ

Q H27年の施政方針で「市政の見える化」が出てきた。これに政策調整室設置などの決定過程の透明化は含まれるか。更に市長の政治姿勢の「清新で公正、情報公開でよくわかる市政」に矛盾していないか。

A 政策調整室の設置、またその人事については、所管事務調査の中で部長、課長、そして私も2回にわたって説明してきました。その指摘には当たらないと思っています。

Q いちよう通り舗装修繕工事の実施は

A 今年度から修繕工事を順次実施していきます

A 早期に実施する考えはないか伺う。さまざまな特定財源の活用を検討して、早期に実施できるよう努力します。

Q 単純に5年以上かかることになる。早期に実施する考えはないか伺う。

A さまざまな特定財源の活用を検討して、早期に実施できるよう努力します。

Q 調査診断結果により、損傷の激しいところより着手する予定です。施工延長は、約250メートルの区間を予定しています。

A 調査診断結果により、損傷の激しいところより着手する予定です。施工延長は、約250メートルの区間を予定しています。

Q 今年度の修繕工事はどのように行うのか。

A 調査診断結果により、損傷の激しいところより着手する予定です。施工延長は、約250メートルの区間を予定しています。

Q 沿線住民は振動騒音で毎日苦しんでいる。工事の早期実施を

求めている。早期実施を

求めている。早期実施を

求めている。早期実施を

ふるさと納税の取組み強化を

Q 前年度の実績について伺う。

A 寄附金の収入はH29年度は4146万円、返礼品代等の経費は、20

Q 振動騒音の原因や侵入交差点の安全等を考慮し大型車両の通行規制について検討しないか伺う。

A 大型車両の通行規制については、指定地域内における自動車の騒音・振動規制法に定める基準値以下であること等から千葉県公安委員会に改善を要請することができません。

Q 財政的収支を考えた場合2138万円赤字となるが、市としてはどのように考えているか伺う。

A 返礼品等に係る経費については、袖ヶ浦市のPRや地域経済の活性化にもつながるものとして考えていますが、収支の差があることも含め、更なるふるさと納税の増加に向けて取り組んでいく必要があると考えています。

Q 59万円となっています。市民による他市町村への寄付金に基づく本市の市民税控除額は、4225万円です。

A 59万円となっています。市民による他市町村への寄付金に基づく本市の市民税控除額は、4225万円です。

“委員会レポート”

市の仕事は様々であり、市議会で取り扱う案件も数が多く、内容も幅広い分野にわたっているため、部門ごとに分けて、専門的に審査・調査する委員会を設けています。

この委員会レポートでは、委員会での調査や視察について報告します。

総務企画 常任委員会

庁舎整備事業 H32着工に向けて

総務企画常任委員会では、「庁舎整備事業」について、本年度に検討が進められている「庁舎整備事業の整備手法について」所管事務調査を実施しました。

資料に基づき、整備手法の概要・先進市における事例紹介等の説明を受け、質疑応答を実施しました。

これまで、議会としては「総務企画常任委員会」で、各議員から意見をもらい基本設計に向けて要請書を提出してきました。今後、引き続き進捗状況などをチェックしていきます。



文教福祉 常任委員会

「いのちの教育」の 大切さを学ぶ

岩手県釜石市視察

釜石市では、「自他の命を守るために、主体的に行動することができる子ども」を育てるために、自他の命を尊重する心を培うとともに、主体的に自分で判断し行動することができる資質や能力を育てる「いのちの教育」を推進しています。

「防災教育」では、自他の命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全活動に進んで参加・協力し、貢献できるようにすることを目指しています。本市においても、いつ起こるか分からない災害に備えて「防災教育」が必要と強く認識しました。

- 1 岩手県釜石市
「生き抜く力の育成について」及び「防災教育について」
- 2 岩手県大船渡市
「子育て支援推進のための子育て課の所管と設置効果について」



建設経済 常任委員会

水道事業広域化による 経営基盤の強化

岩手中部水道企業団視察

岩手中部水道企業団では、広域化により財力が強化され、経年化施設の計画的な更新が可能となりました。また、人口減少社会に対応したダウンサイジング化によって、長期にわたり安定した給水サービスが提供できるようになりました。

しかし、その一方で構成自治体との関係が希薄化し、危機対応時など、協力体制への相互理解が必要であると感じました。

- 1 岩手中部水道企業団
「広域水道企業団と構成市町の事業体統合と統合後の運営や使用料の推移、職員体制について」
- 2 岩手県岩手郡雫石町
「菜のテクノロジープロジェクトについて」



※収穫した菜種を選定している様子です

地域活性化推進 特別委員会

未来の袖ヶ浦を見据えて

地域の特性を活かした魅力ある袖ヶ浦を目指して調査研究を行ってきました。最重要課題として、平川地域の高齢化、人口減少を取り上げ、これまで調査研究、議論を重ねてきました。その中で「カフェドギかい」を開催し、地域住民の多くの方の声を聴かせていただきました。これらの声を委員会審議の中で参考とさせていただきます。委員会の最終報告として、平川地域の活性化に必要な商業の誘致や住宅建設意欲を喚起するために市街化調整区域の見直しを含めた規制緩和など3項目を提言しました。



カフェドギかい

環境・災害対策 特別委員会

災害発生！

そのとき議会は

長岡京市議会視察

昨年、長岡京市議会は災害時における議会対応指針を制定しました。これは、災害時において市が行う災害対応を支援するための、議会と議員がとるべき行動原則を定めたものです。視察の直前には、京都市内で震度5強の地震が発生しており、実際の対応について話を聞くことができました。その中で情報伝達の難しさや行動範囲の限界などが課題に挙げられ、もはや万一とは言えない災害に対して、本市議会でも検討が必要であると痛感しました。



- 1 長岡京市
「災害時における議会対応について」
- 2 野洲市
「野洲市生活環境を守り育てる条例及び第2次環境基本計画の取組みについて」

「おはなしの花たば」を開催

平川図書館「おはなしの花たば」では、素話や絵本の読み聞かせ、映画会などを行い、子どもと本のふれあいの場を作っています。おり紙で作るお花教室も開かれ、図書館ボランティアの華麗なハサミ使いに、子どもたちも目を丸くしていました。最後にかわいい花束がプレゼントされ、みんなニコリ笑顔になりました。



十五夜コンサート ～月へ届け、音の贈り物～



今年で3回目を迎えた十五夜コンサートは、長浦公民館長による青春ソングのギターの弾き語りと、オカリナサークル「カナリアンズ」による演奏が月明りのもとで行われました。



お月様と竹灯籠が醸し出す幻想的な雰囲気の中で、秋の夜長を楽しむ大勢の方の姿が見られました。(郷土博物館)

「議会のひろば」より

録画配信を
ご利用ください
定例会全日程終了後
約2週間でアップ



本会議の会議録はホームページへの掲載まで約2ヶ月かかりますので、内容を早くご覧になりたい方、もっと詳しく知りたい方は、録画配信をご利用ください。

パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレット端末でもご覧になれます。

議員名・会議日から選べます。
「再生」を押すと映像が始まります。

袖ヶ浦市議会 映像

検索



〒299-0292 袖ヶ浦市坂戸市場1-1
FAX 0438-63-5130
E-mail sode32@city.sodegaura.chiba.jp

【12月の定例会】

日	月	火	水	木	金	土
11/25	11/26	11/27	11/28	11/29	11/30 本会議 10:00～	12/1
2	3	4	5	6 本会議 (一般質問) 9:30～	7 本会議 (一般質問) 9:30～	8
9	10 本会議 (一般質問) 9:30～	11 本会議 (一般質問予備日)	12	13 総務企画 常任委員会	14 文教福祉 常任委員会	15
16	17 建設経済 常任委員会	18	19 本会議 10:00～	20	21	22
23 天皇誕生日	24 振替休日	25	26	27	28	29
30	31					

* 一般質問通告一覧表は11月26日頃、ホームページに掲載する予定です。

* 12月定例会の予定は、11月22日(木)に開催される議会運営委員会で正式決定されます。詳しくは議会事務局(62-3450)へお問い合わせください。

* 請願・陳情の受付は11月20日(火)までです。

